

活動報告書

報告者氏名：和泉友紀子 所属：北海道函館五稜郭支援学校 記録日：平成26年 2月28日

【対象生徒の情報】

○学年

高等部2年生の男子生徒1名

○障害名

知的障害

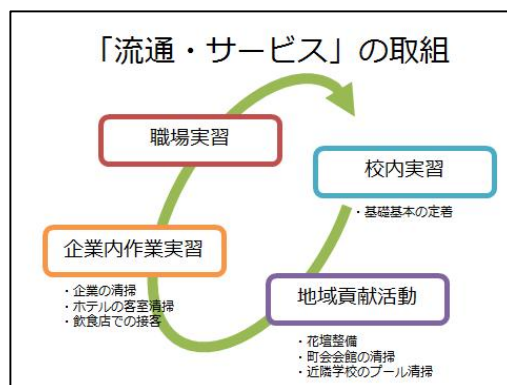
○障害と困難の内容

軽度知的障害であり、てんかんを持ち合わせている。コミュニケーション能力も高く話し好きであるが、自分から相手に伝えたい事を要約して伝える事が困難である。

【活動目的】

○当初のねらい

本校は職業学科を設置する高等部であり、専門教科「流通・サービス」において、主に清掃作業（ビルクリーニング作業）を中心に学習を行っている。その中では、実践力を身につけることを目的に、企業と連携し、企業内作業実習を行っている。その取り組みのなかで、iPadを活用し、清掃の手順の確認を自身で行い、解決する力を身につけたい。また、「報告」や「相談」等をiPadを活用して行うことで、相手に伝えたいことを言葉と同時に、画像や動画を交え、視覚的に行うこともねらいたい。



○実施期間

平成25年6月～

○実施者

教諭 和泉友紀子

○実施者と対象児の関係

学級担任

【活動内容と対象児（群）の変化】

○対象児（群）の事前の状況

・パソコンを使うことを好み、ワードでの文書作成やエクセルなどを学習する意欲が高く、授業以外の時間でも積極的に学習することが出来る。

○活動の具体的内容

①マニュアル作成・活用

企業内作業実習における清掃に関わる基礎基本の動き、手順について、ワードで作成し、PDF化したものを利用して、確認に活用する。（Wordを利用して作成、iBooksを利用して閲覧する）



使用アプリについて（iBooks）：Apple社が提供する電子書籍リーダーである。PDF化したものを本棚で管理する仕組みになっています。書き込み等の機能はありませんが、シンプルに清掃マニュアルを見るだけのアプリとして使用している。

②企業毎のマニュアル作成・活用

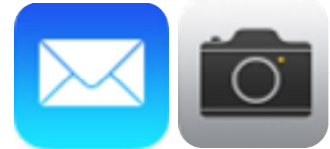
各企業における清掃作業の手順を iPad を利用してマニュアル化し、作成したマニュアルを手順の確認として活用する。(Notepad+を利用して作成、iBooks を利用して閲覧)



使用アプリについて (Notepad+) : Apalon が提供する文書作成アプリである。手書きとキーボード入力が両方でき、画像を取り込み、直接文字の書き込みも可能で、文章で表現が難しいものでも手書き入力や画像に直接書き込む事で、簡単に作成することができる。

③メールを活用した報告、相談

実習先に WiFi 環境が無いため当初予定していた Facetime の活用がむずかしく、Skype を代用した。しかし雑音が入る他、映像が鮮明に写らず、音声のみでの報告や相談として活用。視覚的に伝えたい場合は実際の状況の画像を添付してメール送信する。



使用アプリについて (Skype) : Skype Communications が提供する音声通話アプリである。ビデオ通話をすることができる。また、通話を控えなければならない場面でもインスタントメッセージ機能でチャットを行いながらファイル送信することが可能である。

○対象生徒の事後の変化

①マニュアル作成・活用

PDF 化したマニュアルを iPad で持ち歩くことで、確認したい情報を簡単に調べることができるようになった。

また確認までの時間が短縮もされ、手にとって活用する様子が多く見られた。対象生徒の感想では、「拡大することができ、見やすい」「画像がわかりやすい」とあった。

実習に取り組む前に、清掃手順、動きを確認することで、実習中も手順や行程を意識して取り組むことができた。



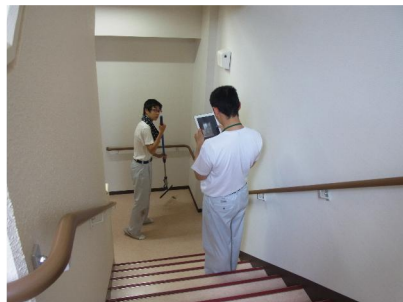
実習に取り組む前に iPad を活用し、作業手順の確認している様子

②企業ごとのマニュアル作成・活用

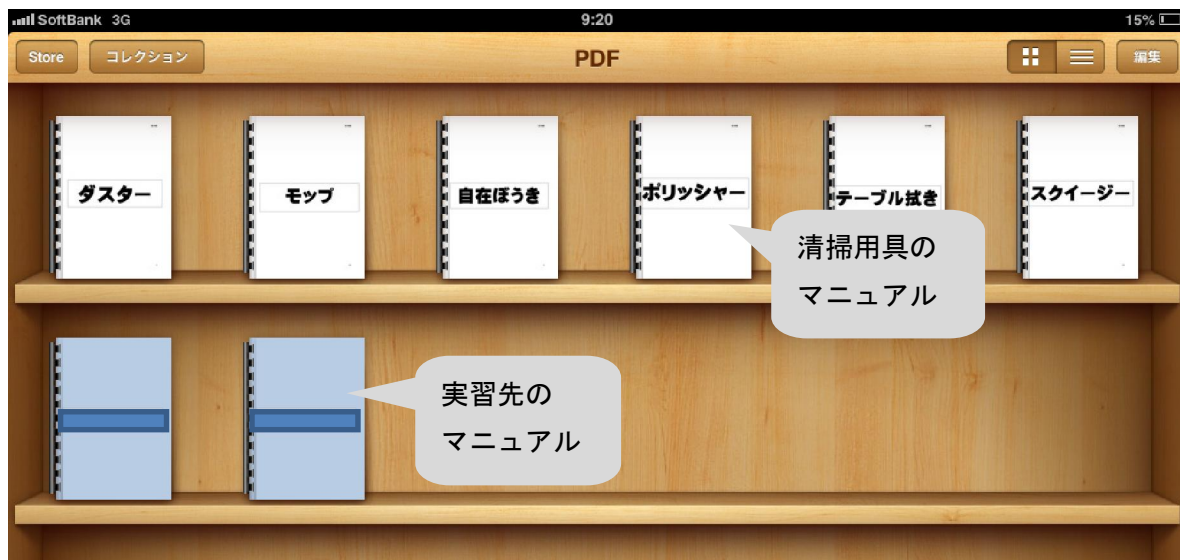
企業内での実習活用マニュアル作成のため、清掃作業の様子の写真撮影を行い、どこが作業のポイントとなるのかを考えながら作成に取り組むことができた。視覚的にとらえやすく、確認が容易でもあり、楽しみながら取り組むことができた。ワードで作成するよりも画像の貼り付けなどが指先ででき、思い通りのマニュアル作成に取り組むことができた。

PDCA サイクルの考えを基に、実習前の効果的な手順、動きの確認につながり、確実な作業へとつなげることができた。

また、実習終了後のチェックとしても活用でき、次回の実習へと活かすことができたと考える。



企業用マニュアルのための清掃の仕方を撮影している様子

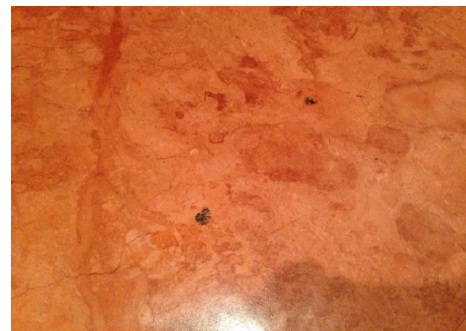


iBooks を活用したマニュアル一覧・・・表紙が一覧になり、調べやすい

③メールを活用した報告、相談

困った事が起きた場合、画像を添付してメールすることができた。通常の清掃では落ちない汚れがあり、どうしたらよいかという内容を相談することができた。

今後は、企業の協力を得て、報告や相談を直接対応してもらい、緊張感を持った活動も取り入れていきたい。さらに通信環境等が変わっていけば、画像を両方で確認しながら通話ができると、より相手に伝わる可能性を感じた。



生徒が撮影した床の汚れの写真

【報告者の気づきとエビデンス】

iPad は「自分でできる自信」のツール

対象生徒にとって、iPad は清掃資機材同様のツールとなった。今までの実習では、困った事が起きた時や、清掃資機材の使い方が分からなくなってしまったときは、そばにいる教員に頼るしかなかったが、まず iPad を見てみようという自発的な意識を持つことができた。また、グループで清掃を行う際は、対象生徒がリーダーとなり、他の生徒に指示を与え、生徒と協力して調べようとする姿も見られ、生徒同士で解決しようとする事ができた。対象生徒からの感想として、「他の生徒に報告や次の指示をすることがとても難しいと感じたが、やりがいを感じる事ができた」と話していた。

自分たちで工夫して活用することができた

床清掃を行うため、床の上にあるものを他の場所へ移動しなければならない。清掃後、元通りの状態に戻すために、カメラを利用し、清掃が終わり次第、撮影した画像を見て元に戻すことができた。この場合デジタルカメラ等でも行うことも可能だが、iPad のような大きな画面で複数の生徒達で確認することができた。



対象生徒がリーダーとなり、他の生徒に指示を与えている

